

## 平成25年度事業計画（案）

### I. 平成25年度の取り組み方針

これまで培った本会議構成機関の広域連携体制の下で、24年度に開催した「ビジネスイノベーション研究会」活動の成果を踏まえたセミナーを開催するとともに、新たに本年度は、広域的に連携する公設試験研究機関を対象として、地域が技術的に強みを有する分野に係る試験研究・検査設備を整備する取り組みを行い、九州のイノベーション創出基盤の強化に貢献する等、以下の取り組みを推進する。

1. 構成機関のネットワークの維持・継続
2. 地域企業の技術課題解決に資するワンストップサービスの推進
3. 試験研究機器等データベースの更新と活用促進
4. 九州オープン・イノベーションソリューションサイトの活用
5. 「ビジネスイノベーション研究会」活動の成果を踏まえたセミナーの開催
6. 地域新産業創出に向けた公設試験研究機関の基盤強化
7. 広報活動の実施

### II. 個別の取り組み

#### 1. 構成機関のネットワークの維持、継続

##### (1) 通常総会の開催

平成25年度の通常総会を開催し、24年度事業実績や25年度事業計画等に関して所要の審議を行う。

<計画>

- ・開催日：平成25年7月23日（火）
- ・開催場所：博多都ホテル（福岡市）

##### (2) 構成機関の関係者とのネットワークの維持継続

本年度も、幹事会含め構成機関の実務担当責任者を中心とするネットワークを通じた関係機関との連携・協力関係を維持継続する。

特に、構成機関の関係者は、地域企業の技術課題解決に向けたワンストップサービス、開放機器等データベースの更新等に協力するとともに、その有効な活用に努める。

また、本会議事務局は、構成機関の実務担当責任者を窓口として、会員情報の受配信やタイムリーな関係情報の配信に努める。

## 2. 地域企業の技術課題解決に資するワンストップサービスの推進

### (1) ワンストップサービスの推進

九州地域における企業の様々な技術課題に対し、引き続き、本会議の「技術相談ワンストップサービス」の仕組みを有効に活かした取り組みを推進する。

具体的には、地域企業等からの技術相談に関しては、本会議事務局を担う(一財)九州産業技術センター及び(独)産業技術総合研究所九州センターに配置のコーディネータ等が対応する。とともに、必要に応じてコーディネータ・事務局関係者で構成する「事務局グループ会議(略称:G会議)」において対応方針等を検討する。

このうち、構成機関の研究者等とのマッチングが必要な案件に関しては、実務担当責任者等との連携の下で、地域企業等と公設試・大学等の研究者との最適なマッチングに努めることにより、地域企業等の技術課題の解決や産学官の共同研究開発の促進を支援する。

また、平成22年度に発足した「産業支援金融プラットフォーム(略称:金融PF)」の取り組みを踏まえ、適切な連携に努める。

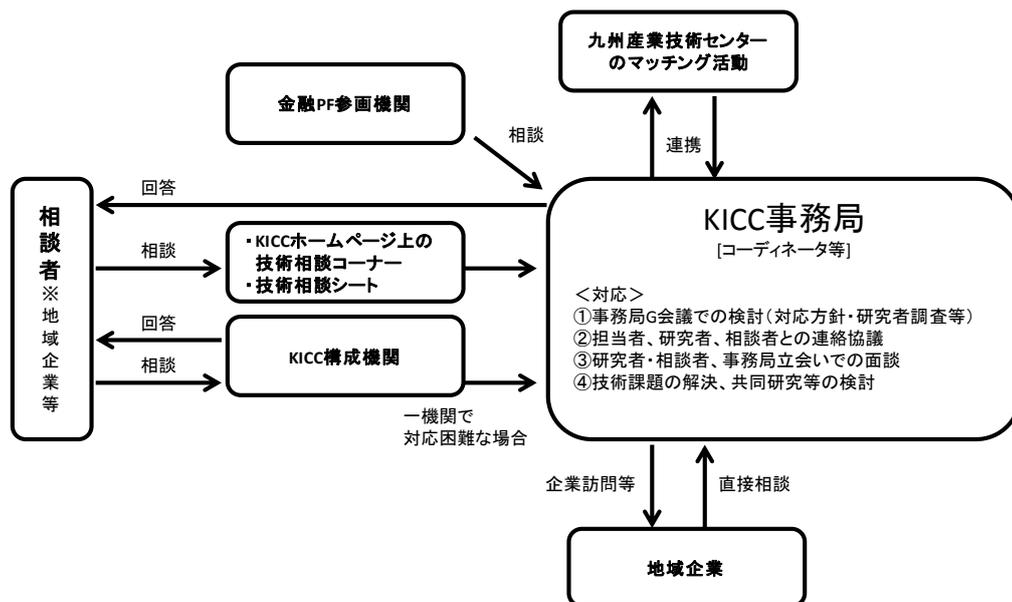


図. ワンストップサービスの体系

### (2) 訪問型技術相談の実施

地域における新成長産業分野を中心とする地域企業の魅力的な技術ニーズの掘り起こしを行うとともに、訪問型の技術相談を通じて、技術課題の解決或いは研究開発の促進をサポートしていく。

### (3) 構成機関との連携による技術相談等の実施

(独)産業技術総合研究所九州センターが、産総研や各県公設試、KICC等の

活動を地域企業に知って頂くことを目的として開催する「九州・沖縄 産業技術オープンデー」事業に、本会議として共催するとともに、構成機関等との連携の下で、地域企業からの技術相談等に対応する。

<計画>

「九州・沖縄 産業技術オープンデー」について

①開催日：平成25年11月27日（水）

②開催場所：サンメッセ鳥栖、(独)産業技術総合研究所九州センター  
(佐賀県鳥栖市)

③主な内容

- ・最先端の技術シーズを紹介する研究講演会・ポスター展示・ラボツアー
- ・企業化に成功した連携事例を発表する公設試と企業の合同成果発表会
- ・技術相談会や経営相談会 等

### 3. 試験研究機器等データベースの更新と活用促進

平成24年度までに大学・高専、各県公設試、産業支援機関等が協力して整備した開放試験研究機器データベースについては、最新のデータに追加・更新するとともに、ホームページ等を通じて幅広い活用を努める。

なお、本データベースの更新等に当たっては、構成機関の協力の下で、別途、事務局が調査を行うこととする。

<協力機関>

- ・九州地方知事会（工業系公設試連携事務局）を通じた各県公設試データベースの追加・更新
- ・大学・高専等のデータベースの追加・更新

### 4. 九州オープン・イノベーションソリューションサイトの活用促進

前年度に引き続き、技術課題（企業が外部に求める技術ニーズ）をWebサイト上に公開し、九州域内の優れた技術を持つ中小企業等からの提案を募り、解決可能なシーズとのマッチングを支援することにより、新製品、新事業の創出に向けた取り組みを推進する。

本事業は、関西地域の中小企業支援機関の大阪産業振興機構及び神戸商工会議所との連携を図りながら実施。

### 5. 「ビジネスイノベーション研究会」活動の成果を踏まえたセミナーの開催

24年度に実施した「ビジネスイノベーション研究会」活動を踏まえ、セミナー等を開催する。技術開発だけではなく、知財等を考慮したビジネスモデルの構築や新市場の創造等に関する技術経営等の課題について議論を深める。

(実施計画)

1. 開催地域 未定
2. 内 容 検討中

## 6. 地域新産業創出に向けた公設試験研究機関の基盤強化

25年3月末、九州経済産業局から受託した本事業は、広域的に連携する公設試験研究機関（以下、「公設試」という）に地域が技術的な強みを有する分野を中心とした試験研究・検査設備（以下、「設備」という。）を整備することによって、地域企業の研究利用、国際規格への対応、安全性の確認等のための評価試験を行うために必要な基盤を強化するものである。

第三者機関である運営協議会で策定された整備方針に基づき、設置する設備は、「次世代自動車産業分野」及び「機能性食品・バイオ産業分野」を対象に、以下のとおり整備し、企業等の活用を促す。

### 〈「整備方針」骨子〉

#### (1) 「設備」及びその設置場所：

##### ①次世代自動車関連分野（5機器、2カ所）

###### i) 設置場所：福岡県工業技術センター 機械電子研究所

設備名称：・超高精度3次元造型機（地域企業の研究利用）

・熱膨張係数測定器（地域企業の研究利用）

・GHz帯EMIテストレシーバー

（国際規格対応、安全性の確認等の評価試験）

###### ii) 設置場所：大分県産業科学技術センター

設備名称：・B-Hアナライザ（地域企業の研究利用）

・ミックスドシグナルオシロスコープ（地域企業の研究利用）

##### ②機能性食品・バイオ産業分野（4機器、2カ所）

###### i) 設置場所：熊本県産業技術センター

設備名称：・トランス脂肪酸分光分析装置（試料前処理装置付）

（国際規格への対応、評価試験）

・マイクロ波プラズマ原子発光分析装置（試料処理装置付）

（地域企業の研究利用・安全性の確認等の評価試験）

・真空凍結乾燥器（地域企業の研究利用）

###### ii) 設置場所：宮崎県食品開発センター

設備名称：・多感覚分析トータルシステム（地域企業の研究利用）

#### (2) 設備の活用促進：

##### ①専門家等の配置

九州地域の企業や関係機関に広域活用され、地域における新産業の創出につながるよう、6名の専門家等を事務局及び設置する公設試に配置する。

##### （専門家等の業務）

・地域企業が設備を活用する際のサポート（使用時のサポート、講習会開催等）

・設備の有効活用を図るため、地域企業と設置公設試、または、設置公設試とその他の関係機関間のコーディネート

・設備の有効活用を促すための周知（説明会、企業訪問等）

## ②主な普及活動

- i) KICC構成機関の協力の下、設備の九州地域での広域的な活用を促す説明会・セミナー等の開催、KICC構成機関が主催する諸会議等でのPR、企業及び関係機関への訪問等。
- ii) 設置公設試及び(一財)九州産業技術センターのホームページや情報誌の活用。

## 7. 広報活動の実施

本会議のホームページを通して、関連情報を提供するとともに、技術相談ワンストップサービスの紹介、開放試験研究機器をはじめとするデータベースの提供等の広報活動を実施するほか、各種の機会を通して本会議の活動のPRに努める。